

平成17年12月27日
川崎市アスベスト対策会議

市有施設におけるアスベスト含有吹付け材等の使用実態調査の中間報告について

川崎市では、平成8年度以前に竣工したすべての市有施設について、アスベストが含有する可能性のある吹付け材等の使用状況を調査しているところですが、このたび、建築技術者が行った第2次調査の結果がまとまりましたので報告いたします。

1 調査内容

施設管理者により実施した第1次調査の結果に基づき、吹付け材の使用が認められた施設に対し、第2次調査としてアスベスト含有吹付けロックウール、吹付けひる石、パーライト吹付け、発泡ケイ酸ソーダ吹付け及び折板裏打ちアスベストの使用状況について、建築技術者による目視調査を行いました。

2 調査状況

第1次調査で抽出した210施設(学校・保育園を除く。)に対し第2次調査を実施した結果、150施設について分析調査が必要であることが確認されました。
(施設数)

調査対象施設	吹付けひる石、パーライト吹付け材等を使用していない施設	分析調査(3次調査)が必要な施設
210	60	150

3 今後の対応

3次調査として実施する分析調査の必要な施設については、専門機関に依頼し、2月中旬を目途にアスベスト含有の有無について明らかにしていく予定です。

(問い合わせ先)

まちづくり局施設整備部公共建築担当
主幹 山下 博

電話 044-200-2967(直通)

内線 37201